

---

# 2011年度第1四半期決算説明資料

2011年8月12日

NKSJホールディングス株式会社

■ NKSJグループ2011年度第1四半期決算のポイント	2
■ 2011年度第1四半期連結決算概況	3
■ 主要損保2社の単体決算概況	4
■ 正味収入保険料	5
■ 正味損害率	6
■ 東日本大震災の影響	7
<参考>家計地震保険の再保険の仕組み	8
<参考>異常危険準備金の仕組み	9
■ <参考>自動車保険の料率改定履歴	10
■ 正味事業費率	11
■ 資産運用	12
■ 運用資産の状況	13
■ 国内生保事業	14
■ 海外保険事業	15
■ 純資産の状況	16
■ 2011年度通期業績予想(NKSJ連結)	17
■ 2011年度通期業績予想(主要損保2社単体)	18

## ■ 連結業績は増収減益

トップラインは生保を中心に増収。一方、前年同期にあったプラス要因(金融保証※、金融派生商品収益等)の剥落などにより減益となった。

## ■ 国内損保の収入保険料は下げ止まりの兆し

自動車保険の料率改定効果が現れ始めた。

## ■ 自動車事故は落ち着いているものの、しばらく注視が必要

リトン・ペイドベースの損害率は改善。先行指標の事故受付件数は足下ほぼ前年並みで推移。

## ■ 東日本大震災による追加損失は発生していない

家計地震保険は仕組み上、「ノーロス・ノープロフィット」  
家計地震以外の支払保険金は前年度に積み立てた支払備金の取崩し益で相殺。

## ■ 国内生保は好調な販売を持続

医療、がん、収入保障、終身を中心に新契約ANPが大幅増加。保有契約も着実に拡大。  
「損保ジャパンひまわり生命」と「日本興亜生命」は本年10月1日に合併予定。

## ■ 海外保険事業はトップライン、利益ともに増加

アジア・南米などの新興国を中心に保険料が伸びる。買収したSJシゴルタ社(トルコ)等が連結寄与化。

## ■ 通期業績予想は据え置き

※ 金融保証は前年同期+64億円に対し当四半期+6億円。通期予想は▲30億円。

# 2011年度第1四半期連結決算概況

(単位:億円)

	2010年度 第1四半期	2011年度 第1四半期	増減	増率
<b>経常収益</b>	6,634	7,327	+693	+10.5%
正味収入保険料	5,049	5,082	+33	+0.7%
生命保険料	480	575	+95	+19.8%
<b>経常利益</b>	233	117	△116	△49.8%
損保ジャパン連結	148	65	△83	△56.1%
日本興亜損保連結	114	81	△33	△29.0%
連結調整等(注)	△29	△28	+0	-
<b>当期純利益</b>	134	120	△13	△10.2%
損保ジャパン連結	94	74	△20	△21.2%
日本興亜損保連結	76	62	△14	△18.6%
連結調整等(注)	△36	△16	+20	-
<b>1株当たり純利益</b>	8.08円	7.25円	△0.83円	△10.3%

(注)NKSJホールディングスの設立にあたり、企業結合の会計処理として「パーチェス法」を適用している。上記「連結調整」の主なものは「パーチェス法」適用に伴う修正額。

NKSJホールディングス連結では、日本興亜損保の資産・負債を経営統合時の時価で取得し、これを簿価としている。

(日本興亜損保連結上の認識簿価とHD連結上の認識簿価が相違)

従って、日本興亜損保連結上の売却損益等を修正する必要がある。

# 主要損保2社の単体決算概況

(単位:億円)

	損保ジャパン		
	2010年度 第1四半期	2011年度 第1四半期	増減
正味収入保険料	3,311	3,277	△33(△1.0%)
(除く自賠責)	2,921	2,903	△17(△0.6%)
正味損害率	64.3%	69.8%	+5.6pt
(除く金融保証損失・自賠責)	58.4%	63.8%	+5.3pt
正味事業費率	32.9%	33.1%	+0.2pt
(除く自賠責)	33.5%	33.6%	+0.1pt
コンバインドレシオ	97.2%	102.9%	+5.8pt
(除く金融保証損失・自賠責)	92.0%	97.4%	+5.4pt
保険引受利益	14	△31	△46
資産運用粗利益	156	132	△23
経常利益	153	69	△84
当期純利益	102	33	△68

	日本興亜損保		
	2010年度 第1四半期	2011年度 第1四半期	増減
	1,602	1,608	+5(+0.4%)
	1,427	1,442	+14(+1.0%)
	65.5%	75.1%	+9.6pt
	60.3%	70.8%	+10.4pt
	35.1%	34.7%	△0.4pt
	35.8%	35.4%	△0.4pt
	100.7%	109.9%	+9.2pt
	96.1%	106.1%	+10.0pt
	27	21	△5
	89	72	△17
	111	87	△24
	75	68	△6

## 【参考】修正利益

当期純利益	102	33	△68
+)異常危険準備金繰入額(税引後)	45	40	△5
+)価格変動準備金繰入額(税引後)	9	9	+0
-)有価証券売却損益・評価損(税引後)	△21	11	+32
修正利益	179	72	△106

	75	68	△6
	△9	△24	△14
	4	△8	△13
	7	△12	△19
	63	47	△15

※除く金融保証損失は損保ジャパンのみ

# 正味収入保険料(主要損保2社単体)

- ◆ 2社合算の増収率(除く自賠責)は $\Delta 0.1\%$ と、減収傾向に歯止め。
- ◆ 自動車保険は $+0.1\%$ と料率改定効果が現れ始める。

<火災> 日本興亜損保:大口契約等の影響により増収  
 <傷害> 損保ジャパン:団体・企業向け商品を中心に増収  
 <自動車> 損保ジャパン:料率改定効果は現れ始めたものの、新車販売台数減少等の影響により微減収  
 日本興亜損保:料率改定効果等により増収  
 <自賠責> 両社共通:新車販売台数の減少等により減収  
 <その他> 損保ジャパン:賠償責任保険で大口契約の条件見直し等の影響により減収

(単位:億円)

	損保ジャパン			日本興亜損保			2社合算
	金額	増減	増収率	金額	増減	増収率	増収率
火災	341	$\Delta 3$	$\Delta 1.0\%$	214	+13	+6.6%	+1.8%
海上	61	$\Delta 0$	$\Delta 0.4\%$	30	$\Delta 2$	$\Delta 7.4\%$	$\Delta 2.8\%$
傷害	365	+9	+2.7%	144	$\Delta 0$	$\Delta 0.5\%$	+1.8%
自動車	1,640	$\Delta 1$	$\Delta 0.1\%$	814	+4	+0.5%	+0.1%
自賠責	374	$\Delta 15$	$\Delta 4.0\%$	166	$\Delta 8$	$\Delta 5.1\%$	$\Delta 4.3\%$
その他	494	$\Delta 22$	$\Delta 4.4\%$	237	+0	+0.2%	$\Delta 2.9\%$
(うち賠償責任)	352	$\Delta 16$	$\Delta 4.5\%$	132	+1	+1.3%	$\Delta 3.0\%$
合計	3,277	$\Delta 33$	$\Delta 1.0\%$	1,608	+5	+0.4%	$\Delta 0.6\%$
合計(除く自賠責)	2,903	$\Delta 17$	$\Delta 0.6\%$	1,442	+14	+1.0%	$\Delta 0.1\%$

# 正味損害率(リトン・ペイド)(主要損保2社単体)

- ◆東日本大震災により火災保険、海上保険等で支払保険金が増加。(ただし、支払備金取崩し等により、保険引受利益へのマイナス影響はない。次ページ参照。)
  - ◆東日本大震災を除くベースでは、損害率は低下。
- <自動車保険> ・自動車事故の落ち着き等により損害率が改善。  
 ・日本興亜損保では、損調子会社の吸収合併により保険金から損調費への振り替えが発生。

(単位:億円)

W/P損害率	損保ジャパン				日本興亜損保			
	正味支払保険金		正味損害率		正味支払保険金		正味損害率	
		増減		増減		増減		増減
火災	304	+159	91.1%	+47.4pt	279	+188	134.2%	+84.4pt
除く東日本大震災	143	△1	43.7%	△0.0pt	122	+31	60.9%	+11.1pt
海上	46	+6	79.1%	+10.0pt	15	△0	50.3%	+0.9pt
傷害	173	+4	52.0%	△0.0pt	70	△4	53.2%	△3.6pt
自動車	946	+8	67.1%	△0.0pt	474	△27	65.5%	△2.4pt
自賠責	383	△4	111.0%	+3.6pt	176	△1	113.0%	+5.0pt
その他	203	△8	45.1%	+0.7pt	97	△2	44.8%	△2.3pt
(うち賠償責任)	118	△11	36.7%	△1.2pt	43	△5	35.8%	△5.1pt
合計	2,058	+166	69.8%	+5.6pt	1,113	+151	75.1%	+9.6pt
合計(除く自賠責・金融保証損失・東日本大震災)	1,462	△39	57.2%	△1.2pt	765	△17	58.9%	△1.4pt

※除く金融保証損失は損保ジャパンのみ

## 東日本大震災による追加損失は発生していない

(単位:億円)

家計地震	損保ジャパン		日本興亜損保		合計	
	2010年度	2011年度 第1四半期	2010年度	2011年度 第1四半期	2010年度	2011年度 第1四半期
支払保険金	—	△135	—	△93	—	△229
支払備金積増／取崩	△89	△487	△61	△335	△150	△822
発生保険金	△89	△623	△61	△428	△150	△1,051
危険準備金取崩	+89	+623	+61	+428	+150	+1,051
保険引受利益	—	—	—	—	—	—

発生保険金と同額の危険準備金を取崩すため、損益は発生しない。(ノーロス・ノープロフィット)

(単位:億円)

家計地震以外	損保ジャパン		日本興亜損保		合計	
	2010年度	2011年度 第1四半期	2010年度	2011年度 第1四半期	2010年度	2011年度 第1四半期
支払保険金	△0	△54	△0	△77	△0	△132
支払備金積増／取崩	△385	+54	△193	+77	△579	+132
発生保険金	△385	—	△194	—	△579	—
異常危険準備金取崩	+0	+3	+0	+62	+0	+66
保険引受利益	△385	+3	△194	+62	△579	+66

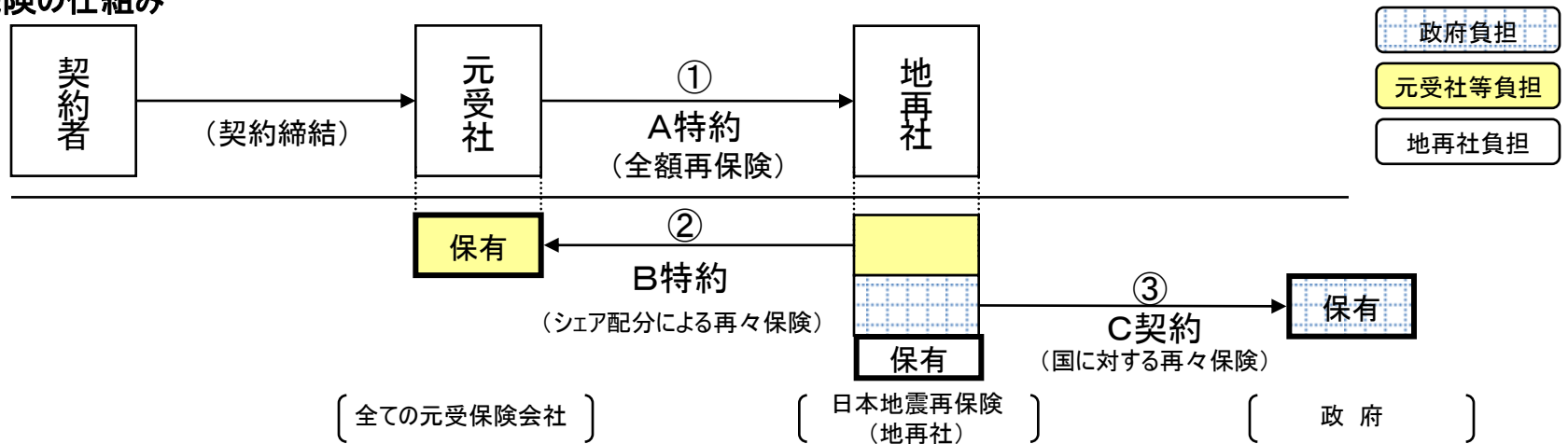
保険金支払額に見合う支払備金取崩益を認識したため、今期の発生保険金はゼロ。

保険金支払いに伴い、異常危険準備金の取崩しが発生したため、この額だけ保険引受利益はプラスになる。

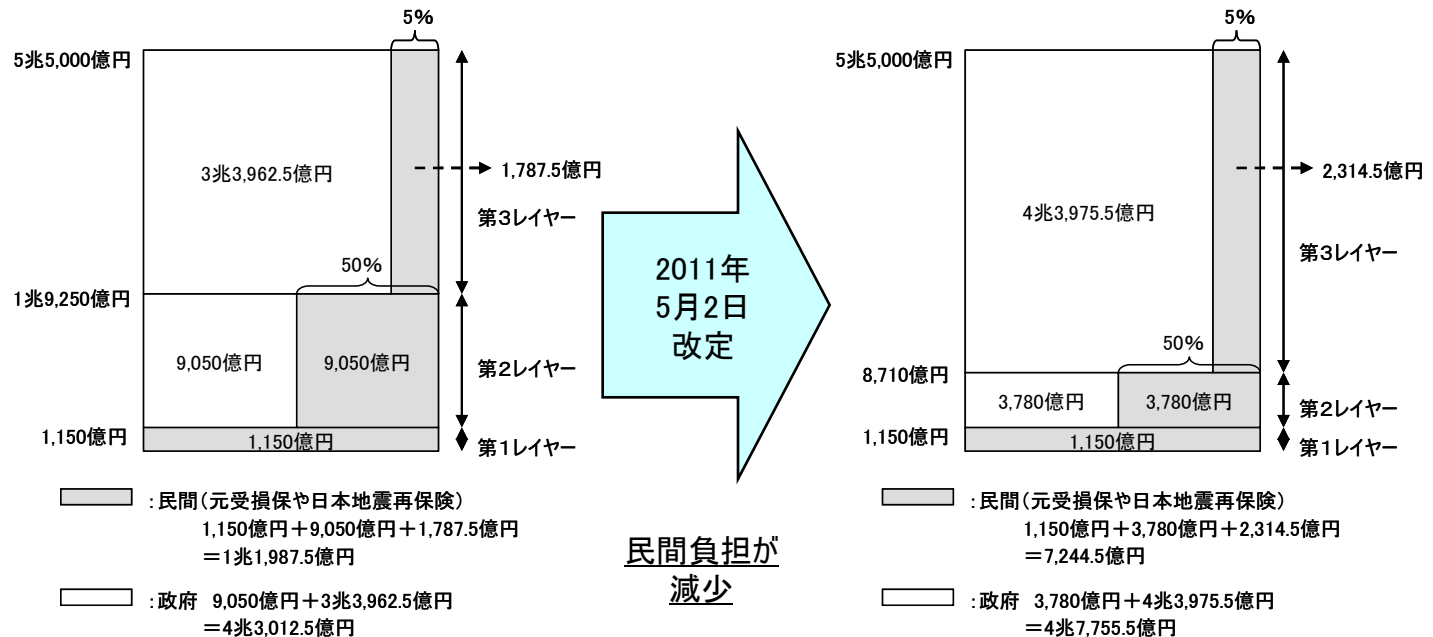


# <参考> 家計地震保険の再保険の仕組み

## 1. 再保険の仕組み



## 2. 負担方法

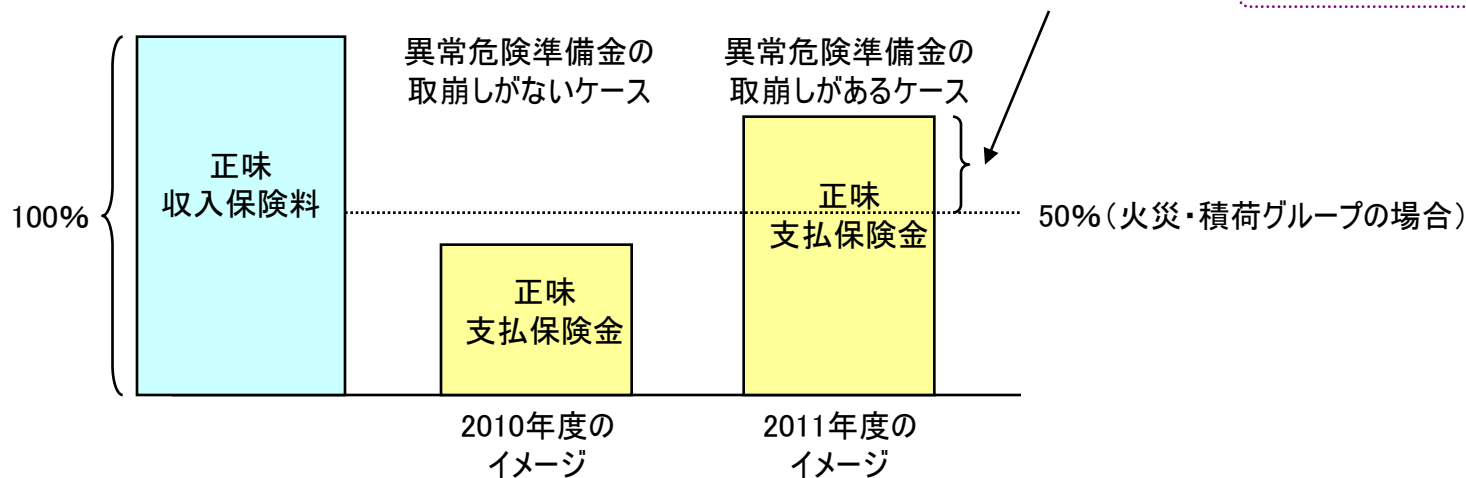


# <参考> 異常危険準備金の仕組み

## 異常危険準備金 とは

- ・台風や地震など、大数の法則が機能しない巨大災害に備えるために積み立てておく準備金
- ・毎期の保険料収入に対し、一定の割合を準備金として積立て(費用計上)
- ・毎期の損害率(保険料に対する支払保険金の割合)が一定の基準を超えた場合には取崩して収益として計上
- ・保険会社の期間損益への影響を緩和し、適切な保険金支払能力を担保する仕組みの一つ

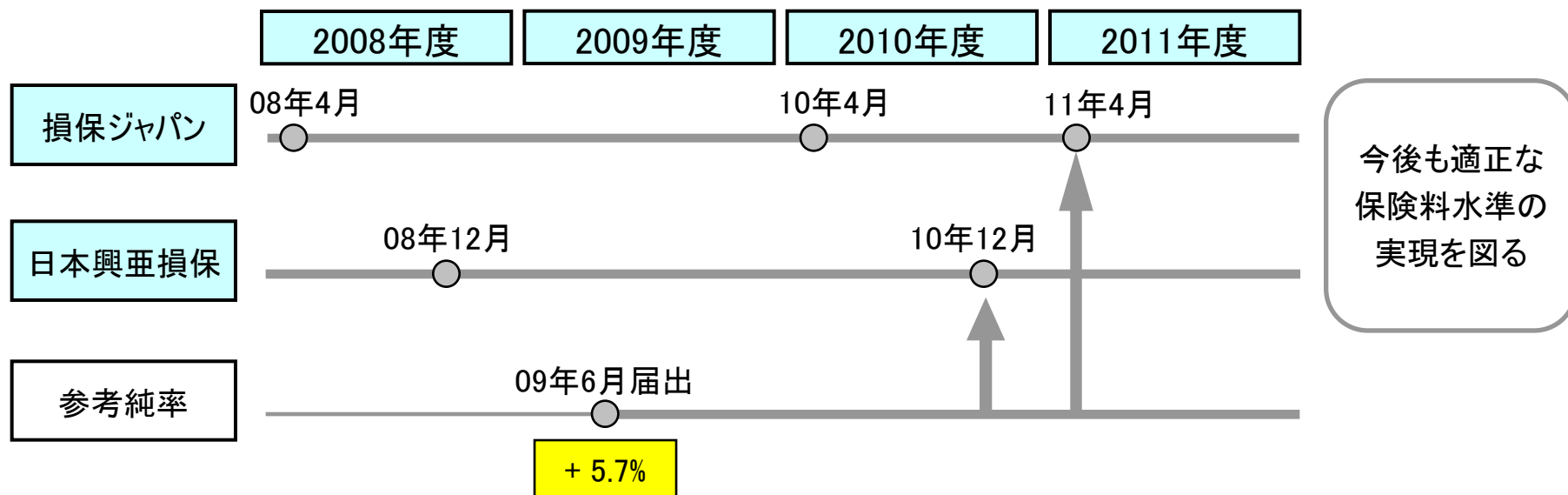
### 【イメージ図】



◇取崩計算の対象は正味支払保険金であり、支払備金は損害率の計算の対象にならない。

# <参考> 自動車保険の料率改定履歴

- ◆ 2008年度から継続的に料率改定を実施
- ◆ 今期は損保ジャパンが2011年4月に改定。日本興亜損保も改定の方で検討中。
- ◆ 今後も適正な保険料水準の実現を図っていく。



# 正味事業費率(主要損保2社単体)

損保ジャパン : 手数料の増加等により事業費率は若干上昇。社費全体は減少。

日本興亜損保 : 手数料は増加したものの、事業費率は低下。

(単位: 億円)

## 正味事業費

	損保ジャパン			
	金額		正味事業費率	
		増減		増減
諸手数料及び集金費	564	+9	17.2%	+0.5pt
保険引受に係る営業費及び一般管理費	520	△13	15.9%	△0.2pt
合計	1,085	△4	33.1%	+0.2pt

	日本興亜損保			
	金額		正味事業費率	
		増減		増減
	279	+7	17.4%	+0.4pt
	279	△11	17.4%	△0.8pt
	558	△4	34.7%	△0.4pt

(単位: 億円)

## 社費

	損保ジャパン			
	金額		対正味収保	
		増減		増減
人件費	408	△17	12.5%	△0.4pt
物件費	321	△3	9.8%	△0.0pt
税金等	51	△1	1.6%	△0.0pt
合計	781	△22	23.8%	△0.4pt

	日本興亜損保			
	金額		対正味収保	
		増減		増減
	219	△0	13.6%	△0.1pt
	153	△1	9.5%	△0.1pt
	17	△2	1.1%	△0.2pt
	390	△4	24.3%	△0.4pt

# 資産運用(主要損保2社単体)

- ◆ 資産運用粗利益は減少。前年同期に計上した金融派生商品収益の剥落が主因。
- ◆ 政策株式のネット削減額は、損保ジャパンが6億円、日本興亜損保が5億円。年度の削減計画(SJ:900億円、NK:400億円)達成に向け売却を実行中。

(単位:億円)

	損保ジャパン			日本興亜損保			2社合算
	2010年度 第1四半期	2011年度 第1四半期	増減	2010年度 第1四半期	2011年度 第1四半期	増減	増減
利息及び配当金収入	239	238	△1	134	148	+14	+12
積立保険料等運用益振替	△99	△96	+2	△52	△48	+3	+5
ネット利配収入	140	141	+0	81	99	+17	+18
有価証券売却損益	7	31	+24	15	0	△14	+9
国内株式売却損益	1	14	+13	16	2	△14	△0
有価証券評価損	△41	△14	+27	△4	△20	△15	+11
国内株式評価損	△12	△14	△1	△1	△16	△14	△16
金融派生商品損益	88	△0	△89	7	5	△2	△91
その他損益	△39	△26	+13	△10	△13	△2	+10
資産運用粗利益	156	132	△23	89	72	△17	△41

# 運用資産の状況(主要損保2社単体)

(単位:億円)

		損保ジャパン			日本興亜損保		
		2010年度末	2011年度 第1四半期	増減	2010年度末	2011年度 第1四半期	増減
<b>積立勘定</b>	円貨債券・貸付金等	11,718(27.8%)	11,597(27.8%)	△121(+0.0pt)	6,928(31.5%)	6,781(31.3%)	△147(△0.2pt)
<b>一般勘定</b>	円貨債券	5,762(13.6%)	5,223(12.5%)	△538(△1.1pt)	2,211(10.0%)	2,154(9.9%)	△57(△0.1pt)
	外貨債券	1,975(4.7%)	2,428(5.8%)	+453(+1.1pt)	2,268(10.3%)	2,270(10.5%)	+1(+0.2pt)
	(うちヘッジ外債)	1,372(3.2%)	1,976(4.7%)	+604(+1.5pt)	1,573(7.1%)	1,634(7.5%)	+61(+0.4pt)
	オルタナティブ・外株等	3,723(8.8%)	3,621(8.7%)	△102(△0.1pt)	847(3.8%)	815(3.8%)	△31(△0.0pt)
	貸付金	2,281(5.4%)	2,279(5.5%)	△1(+0.1pt)	646(2.9%)	670(3.1%)	+24(+0.2pt)
	国内株式	10,506(24.9%)	10,380(24.9%)	△125(△0.0pt)	5,677(25.8%)	5,597(25.8%)	△80(+0.0pt)
	子会社株式	2,835(6.7%)	2,985(7.2%)	+150(+0.5pt)	487(2.2%)	486(2.2%)	△0(+0.0pt)
	その他	3,414(8.1%)	3,214(7.7%)	△200(△0.4pt)	2,952(13.4%)	2,904(13.4%)	△48(+0.0pt)
	小計	30,498(72.2%)	30,134(72.2%)	△364(△0.0pt)	15,091(68.5%)	14,899(68.7%)	△192(+0.2pt)
<b>運用資産残高</b>		42,217(100.0%)	41,732(100.0%)	△485	22,020(100.0%)	21,681(100.0%)	△339

その他有価証券含み益(税引前)	4,553	4,471	△81	2,088	2,055	△33
(うち株式)	4,635	4,516	△119	2,074	2,013	△61

感応度	変動要素	損保ジャパン	日本興亜損保
金利	金利50bpの上昇による資産の増減	△476億円	△309億円
	金利50bpの上昇によるネット実質純資産の増減	+288億円	+63億円
為替	ドル円・ユーロ円10%の下落による外貨建資産の増減	ドル: △436億円、ユーロ: △84億円	ドル: △42億円、ユーロ: △13億円
株価	TOPIX10%の下落による国内株式の増減	△1,132億円	△513億円

- ◆ 医療、がん、収入保障、終身などの販売増により、新契約年換算保険料は2社ともに大幅増加。保有契約も着実に拡大。
- ◆ 増収による責任準備金の繰入負担や合併準備に伴う費用などにより、経常利益・当期利益は赤字に。
- ◆ 本年10月1日の合併に向けた準備は順調に進捗。

(単位: 億円)

	損保ジャパンひまわり生命		
	2010年度 第1四半期	2011年度 第1四半期	前年同期比
新契約高	5,273	5,162	△2.1%
新契約年換算保険料	54	59	+8.6%
うち第三分野	26	30	+17.1%

保険料等収入	559	576	+3.2%
経常利益	3	△1	-
当期純利益	△3	△8	-

	2010年度末	2011年度 第1四半期末	前年度末比
	保有契約高	116,530	119,084
保有契約年換算保険料	2,008	2,016	+0.4%
うち第三分野	790	806	+2.0%

	日本興亜生命		
	2010年度 第1四半期	2011年度 第1四半期	前年同期比
新契約高	1,544	1,850	+19.8%
新契約年換算保険料	22	26	+13.9%
うち第三分野	5	4	△7.6%

保険料等収入	228	269	+18.3%
経常利益	4	△1	-
当期純利益	0	△4	-

	2010年度末	2011年度 第1四半期末	前年度末比
	保有契約高	45,482	46,220
保有契約年換算保険料	749	760	+1.4%
うち第三分野	147	149	+1.4%

※契約高および年換算保険料は、個人保険と個人年金保険の合計。

新興国を中心にトップライン、利益ともに増加。 買収したSJシゴルタ(トルコ)等が連結寄与化。

(単位:億円)

会社名	正味収入保険料			当期純利益			
	2010年度 第1四半期	2011年度 第1四半期	増減	2010年度 第1四半期	2011年度 第1四半期	増減	
損保ジャパン	SJアメリカ	11	15	+3	4	2	△1
	SJヨーロッパ	8	8	△0	1	0	△1
	SJシゴルタ(トルコ)		30	+30		4	+4
	SJシンガポール	6	6	+0	1	1	△0
	テネット(シンガポール)		9	+9		0	+0
	SJ中国	6	9	+3	△0	1	+1
	SJ香港	2	4	+1	△0	1	+1
	南米安田	31	41	+9	△1	0	+2
	その他(マレーシア等)	80	110	+30	△1	4	+6
	小計	148	236	+88(+59.9%)	4	18	13(+280.6%)
日本興亜損保	NKヨーロッパ	1	2	+0	0	1	+0
	NKアジア	1	1	+0	0	0	+0
	NK中国	0	1	+0	△0	△0	+0
	その他	△0	△0	+0	△0	△0	△0
	小計	3	5	+1(+35.0%)	0	0	+0(+4.2%)
合計	152	242	+90(+59.2%)	5	18	+13(+252.7%)	

※正味収入保険料は、連結子会社、持分法適用会社ともに、持分割合を反映した数値を記載しており、連結財務諸表とは基準が異なる。

※当期純利益は、持分割合反映後、連結修正前数値。

※持分法適用会社は「その他」に含めている。



# 純資産の状況

純資産額に大きな変動なし。

(単位: 億円)

主要損保2社単体の純資産	損保ジャパン			日本興亜損保		
	2010年度末	2011年度 第1四半期末	増減	2010年度末	2011年度 第1四半期末	増減
純資産	6,960	6,941	△18	3,655	3,749	+94
(うち、その他有価証券評価差額)	2,958	2,905	△52	1,319	1,337	+17

修正連結純資産(参考・暫定値)	NKSJ連結				
	2010年度末		2011年度第1四半期末		増減
	金額(億円)	1株当たり(円)	金額(億円)	1株当たり(円)	金額(億円)
①連結純資産(※1)	10,743	647.00	10,567	636.50	△175
(うち、その他有価証券評価差額)	2,689	161.99	2,686	161.83	△2
②連結純資産(除く生保子会社純資産)	9,948	599.17	9,770	588.53	△178
③異常危険準備金(税引後)(※2)	4,222	254.29	4,233	254.98	+10
④価格変動準備金(税引後)(※2)	165	9.97	166	10.02	+0
⑤生保子会社EV(※3)	4,470	269.22	4,470	269.26	-
⑥合計(修正連結純資産)(②+③+④+⑤)	18,807	1,132.66	18,640	1,122.80	△166

※1: 新株予約権と少数株主持分を控除。

※2: 「税引後」は、各準備金残高から実効税率分を差し引いたもの。税引後の計算においては、損保ジャパン、日本興亜損保ともにそれぞれの単体の実効税率を用いている。

※3: 生保子会社EVは年1回の開示であるため、2011年3月末の数値を使用。

# 2011年度通期業績予想(NKSJ連結)

期初予想を据え置き  
東日本大震災による追加損失はなく、経常利益、当期純利益は回復

(単位:億円)

	2010年度	2011年度(予想)	増減	増率
<b>経常収益</b>	26,216	27,740	+1,523	+5.8%
正味収入保険料	19,332	19,920	+587	+3.0%
生命保険料	2,381	2,410	+28	+1.2%
<b>経常利益</b>	△64	420	+484	-
損保ジャパン連結	198	470	+271	+136.4%
日本興亜損保連結	△6	200	+206	-
NKSJひまわり		(下期のみ) 30	-	-
連結調整等(注1)	△256	△280	△23	-
<b>当期純利益</b>	△129	160	+289	-
損保ジャパン連結	99	280	+180	+181.6%
日本興亜損保連結	△71	95	+166	-
NKSJひまわり		(下期のみ) △30	-	-
連結調整等(注1)	△157	△185	△27	-

<b>1株当たり配当金</b>	20円	80円(注2)
-----------------	-----	---------

(注1) NKSJホールディングスの設立にあたり、企業結合の会計処理として「パーチェス法」を適用している。上記「連結調整」の主なもの「パーチェス法」適用に伴う修正額。NKSJホールディングス連結では、日本興亜損保の資産・負債を経営統合時の時価で取得し、これを簿価としている。(日本興亜損保連結上の認識簿価とHD連結上の認識簿価が相違。)従って、日本興亜損保連結上の売却損益等を修正する必要がある。

(注2) 2011年10月1日付で普通株式4株を1株の割合で併合する予定のため、2011年度の配当予想については、当該併合の影響を考慮している。

# 2011年度通期業績予想(主要損保2社単体)

(単位:億円)

## 期初予想を据え置き

	損保ジャパン		
	2010年度 (実績)	2011年度 (予想)	増減
正味収入保険料	12,566	12,810	+243(+1.9%)
(除く自賠償)	10,901	11,059	+157(+1.4%)
正味損害率	72.5%	76.8%	+4.3pt
(除く金融保証損失・自賠償)	64.3%	73.1%	+8.8pt
正味事業費率	33.7%	33.0%	△0.7pt
(除く自賠償)	34.8%	34.4%	△0.4pt
コンパインドレシオ	106.2%	109.8%	+3.6pt
(除く金融保証損失・自賠償)	99.0%	107.5%	+8.4pt
保険引受利益	△97	120	+217
資産運用粗利益	404	505	+100
経常利益	205	490	+284
当期純利益	121	270	+148

	日本興亜損保		
	2010年度 (実績)	2011年度 (予想)	増減
	6,206	6,220	+13(+0.2%)
	5,461	5,432	△29(△0.5%)
	69.6%	79.3%	+9.7pt
	65.0%	76.9%	+11.9pt
	35.8%	35.6%	△0.2pt
	37.2%	37.4%	+0.2pt
	105.3%	115.0%	+9.7pt
	102.2%	114.3%	+12.1pt
	△249	△50	+199
	284	314	+30
	△3	210	+213
	△64	110	+174

### 【参考】修正利益

当期純利益	121	270	+148
+)異常危険準備備金繰入額(税引後)	166	△58	△224
+)価格変動準備金繰入額(税引後)	37	37	△0
-)有価証券売却損益・評価損(税引後)	44	150	+106
-)特殊要因(税引後)	-	-	-
修正利益	280	98	△181

	△64	110	+174
	34	△61	△95
	18	19	+0
	57	65	+8
	-	-	-
	△67	2	+69

※除く金融保証は損保ジャパンのみ

# 2011年度通期業績予想(主要損保2社単体)

期初予想を据え置き

## 業績予想の前提等

	損保ジャパン	日本興亜損保
自然災害	250億円 ※東日本大震災による追加損失は見込まない	130億円 ※東日本大震災による追加損失は見込まない
異常危険準備金	91億円の取り崩し(ネット) ※震災ペイド化による取り崩し369億円	95億円の取り崩し(ネット) ※震災ペイド化による取り崩し169億円
資産運用の前提	2011年3月末から大きく変動しないと想定 <株価> 日経平均:9,755.10円      <金利> 10年国債:1.26% <為替> ドル円:83円、ユーロ円:117円	
利息及び配当金収入	グロス:718億円    ネット:374億円	グロス:404億円    ネット:220億円
有価証券キャピタル損益 (売却損益および評価損)	235億円	103億円
価格変動準備金	58億円の繰り入れ(ネット)	30億円の繰り入れ(ネット)
金融保証保険	30億円の損失	

# 2011年度通期業績予想(主要損保2社単体)

期初予想を据え置き

## 正味収入保険料

(単位:億円)

	損保ジャパン			
	2010年度 (実績)	2011年度 (予想)	増減	増収率
火災	1,412	1,451	+38	+2.7%
海上	253	241	△12	△4.9%
傷害	1,271	1,319	+47	+3.7%
自動車	6,399	6,486	+86	+1.3%
自賠責	1,665	1,751	+85	+5.1%
その他	1,563	1,562	△1	△0.1%
(うち賠償責任)	994	986	△7	△0.7%
合計	12,566	12,810	+243	+1.9%
合計(除く自賠責)	10,901	11,059	+157	+1.4%

	日本興亜損保			
	2010年度 (実績)	2011年度 (予想)	増減	増収率
	895	864	△31	△3.5%
	140	142	+1	+1.4%
	496	489	△7	△1.5%
	3,148	3,144	△4	△0.2%
	744	788	+43	+5.8%
	780	793	+12	+1.6%
	399	411	+11	+3.0%
合計	6,206	6,220	+13	+0.2%
合計(除く自賠責)	5,461	5,432	△29	△0.5%

# 2011年度通期業績予想(主要損保2社単体)

期初予想を据え置き

## 正味支払保険金・損害率

(単位:億円)

	損保ジャパン					
	正味支払保険金			正味損害率		
	2010年度 (実績)	2011年度 (予想)	増減	2010年度 (実績)	2011年度 (予想)	増減
火災	560	1,684	+1,123	41.6%	118.4%	+76.8pt
海上	137	137	△0	58.1%	60.6%	+2.5pt
傷害	688	692	+3	59.4%	57.8%	△1.5pt
自動車	3,981	3,997	+15	72.0%	71.1%	△0.9pt
自賠責	1,551	1,558	+6	100.8%	96.2%	△4.6pt
その他	1,260	842	△418	85.5%	58.8%	△26.7pt
(うち 賠償責任)	516	497	△19	56.5%	54.8%	△1.6pt
合計	8,179	8,910	+730	72.5%	76.8%	+4.3pt
合計 (除く自賠責)	6,628	7,352	+723	68.2%	73.7%	+5.6pt
合計 (除く金融保証損失・自賠責)	6,202	7,275	+1,072	64.3%	73.1%	+8.8pt

	日本興亜損保					
	正味支払保険金			正味損害率		
	2010年度 (実績)	2011年度 (予想)	増減	2010年度 (実績)	2011年度 (予想)	増減
	392	977	+585	47.5%	117.2%	+69.7pt
	57	69	+11	42.4%	50.3%	+7.9pt
	297	287	△9	65.0%	64.1%	△0.9pt
	2,101	2,017	△84	72.9%	72.8%	△0.1pt
	714	703	△10	103.2%	96.2%	△7.0pt
	412	452	+39	57.4%	61.7%	+4.3pt
	199	205	+5	53.5%	54.0%	+0.5pt
	3,974	4,508	+533	69.6%	79.3%	+9.7pt
	3,260	3,804	+543	65.0%	76.9%	+11.9pt

将来予想に関する記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## IR関係連絡先

### NKSJ ホールディングス株式会社 経営企画部

電話番号	: 03-3349-3913
Fax	: 03-3349-6545
E-Mail	: shinichi.hara@nksj-hd.co.jp (原) takashi.izuhara@nksj-hd.co.jp (伊豆原) naoko5.takahashi@nksj-hd.co.jp (高橋)
Web	: <a href="http://www.nksj-hd.com/">http://www.nksj-hd.com/</a>